

【開催報告】

内容：モルック大会（主催：一般社団法人 ClearWaterProject モルック部、共催：なごのキャンパスモルック部）

日時：2022年5月22日（日）午前の部：10時～13時 午後の部：14時～17時

場所：愛知県名古屋市なごのキャンパス

参加者数：約125名

（実施状況写真）



（所感等）

・本当に盛り上がった、大盛況な大会になったと感じています。歓声が各所で上がって、とても楽しい、にぎやかな雰囲気にもまれた会場となり、多くの笑顔に出会えたことに感謝しています。

・親子での参加が目立ち、午前の部はモルック初心者が9割。子どもと参加できる気軽な機会を探していた、という参加者の意見が多く、当方の狙いが当たったように感じました。親子で同じチームで楽しむことで、家族の絆は強まったと感じています。

・午後は、発達障害児の家族も参加。その子・家族自体も楽しんでくれたほか、対戦するチームとも楽しく交流している様子を見て、モルックがユニバーサルスポーツ（誰でも楽しめる、気軽に交流できる）である魅力を再認識しました。

・外国人も参加してくれました。モルックを通じた国際交流も生まれていて嬉しかったです。

・参加者からの評価は非常に高く、ぜひまた参加したいという声を多数受けたので、秋に開催できるように資金、人的等、様々な調整を図っていきたいです。

・貴所からの助成を受けている旨、大会の目的等は開会式で伝達させていただきました。

(5月25日付 中日新聞にて紹介されました)



モルックの楽しさ
家族や友人と体験
西区で大会
木の棒やピンを使うフィ
ンランド生まれの競技「モ
ルック」を楽しんでもらお
うと、社内に「モルック
部」がある天白区の一一般社
団法人が、モルック大会を
西区那古野二のなこのキャ
ンパスで開いた。写真。
モルックは木の棒を十二
本のピンに向かって下手か
ら投げ、倒したピンに書か
れた数字や本数に応じた得
点を競う。ボウリングのよ
うな手軽さとカーリングの
ような戦略性を併せ持ち、
近年人気が高まっている。
大会を企画したのは、I
Tを活用して水環境の改善
に取り組む一般社団法人
「Clear Water
Project」(天白区塩
釜口二)のメンバー。昨年
にモルック部を立ち上げ、
社員交流に生かしている。
大会は二百にあり、
二、四人の三十二チームが
参加。モルックの経験や年

齢にかかわらず、白熱した
試合を繰り広げていた。
家族で参加した熱田区の
小学一年伊藤光哉君(六)は
勝利を決定付ける投てきを
連発し、「思った通りに投げ
るのが難しいけど楽しかつ
た」。友人二人を誘った北
名古屋市の会社員北村里紗
子さん(二七)は「たがピンを
倒せばいいのではなく、簡
単だけど複雑なルールで面
白い」と熱中していた。大
会の収益は、ウクライナか
ら名古屋に避難した人を支
援する団体に寄付される。